



こまボン



♪ 美しい歌声が議場に響く ♪

〈出演〉ハーモニーそよ風

ふれあい市議会コンサート

クイズ

小松島名水は人々の喉だけでなく
心を潤すふるさとの誇りです。
この泉は、どこにあるでしょうか。
次の三つからお選び下さい。



- ① J R 中田駅前
- ② J R 南小松島駅前
- ③ J R 立江駅前

応募資格

小松島市民の方、年齢制限はありません。

※はがきに答え・住所・氏名・年齢・性別を記入。
抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!

(当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。)

あて先

〒773-8501
小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局
(締切日8月31日消印有効)

前回もたくさんのご応募、ありがとうございました。
前回の答えは13ページ(下段)に掲載しています

目次

・ 議会新体制	2・3
・ 常任委員会報告(6月)	4・5
・ 一般質問(6月)	6~13
・ 賛否表	14
・ 政務活動収支報告	15
・ 9月定例会議日程	16
編集後記	

委員会構成



総務 常任委員会
 総務部、会計課、消防に関する事項
 委員長 井村 保裕
 副委員長 前川 英貴
 委員 北野 恒男、安平 剛之、杉本 勝、吉見 勝之、片田 真弓、廣田 和三、米崎 賢治、松下 大生



文教厚生 常任委員会
 市民環境部、保健福祉部、教育委員
 会に関する事項
 委員長 杉本 勝
 副委員長 高木 幸次
 委員 宮崎 欽司、佐野 善作、出口憲二郎、北野 恒男、安平 剛之、池淵 彰、片田 真弓、廣田 和三、四宮 祐司



産業建設 常任委員会
 産業建設部、水道部、農業委員会に関する事項
 委員長 米崎 賢治
 副委員長 四宮 祐司
 委員 宮崎 欽司、佐野 善作、出口憲二郎、高木 幸次、井村 保裕、池淵 彰、吉見 勝之、前川 英貴、松下 大生

予算決算 常任委員会
 予算・決算、その他財政に関する事項
 委員長 池淵 彰
 副委員長 出口憲二郎
 委員 宮崎 欽司、佐野 善作、北野 恒男、高木 幸次、安平 剛之、井村 保裕、杉本 勝、吉見 勝之、片田 真弓、前川 英貴、廣田 和三、米崎 賢治、四宮 祐司、松下 大生

議会運営委員会
 委員長 杉本 勝
 副委員長 池淵 彰
 委員 宮崎 欽司、井村 保裕、武田 清

議会改革特別委員会
 委員長 安平 剛之
 副委員長 松下 大生
 委員 佐野 善作、高木 幸次、吉見 勝之、廣田 和三

議会広報特別委員会
 委員長 佐野 善作
 副委員長 片田 真弓
 委員 出口憲二郎、吉見 勝之、廣田 和三、米崎 賢治、四宮 祐司

競輪事業調査特別委員会
 委員長 出口憲二郎
 副委員長 前川 英貴
 委員 北野 恒男、井村 保裕、安平 剛之、杉本 勝、池淵 彰、米崎 賢治、廣田 和三、松下 大生

市民目線に立った議会改革と行政へのチェック機能を強化する

議長に 武田 清 副議長に 廣田 和三



武田 清 議長

臨時会議（5月1日）が開かれ
 新体制の議会がスタートしました

この度、5月1日の臨時会議の議長選挙において、多くの議員の皆様のご支持により就任させていただきました。身にあらまら光栄とともに、改めてその責任の重さを感じています。

これまで、開かれた議会を目指し、様々な議会改革に取り組んでまいりました。その結果、全国の議会からも注目され、多くの視察が訪れるようになり、一定の評価を頂いておりますが、これに

甘んずることなく更なる議会改革が必要であると考えております。

今年最終年を迎えるこの一年は、これまでの議会改革を様々な視点から検証していかねければなりません。また、行政と適度な緊張感を保ちながら、市民目線に立って、議会アドバイザー、議会モニター制度を導入するなど、議会改革を議員一丸となって推し進めていきたいと考えております。

小松島市では、葬斎場の建設や市役所の耐震化は完了しましたが、日峯大神子広域公園（脇谷地区）整備事業や公民館の耐震化、広域ごみ処理施設整備計画や競輪場の整

備など直面した大型公共事業が予定されており、その他、少子高齢化や地震・津波等の自然災害に備えた防災・減災対策など課題が山積しております。

また、最近では行政のミスが頻繁に続いており、仕事に対する集中力や緊張感が欠如しているように感じております。

議会として、しっかりとチェック機能を果たしながら市民の皆様の声を反映した議会運営を進めていきたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



廣田 和三 副議長

5月の臨時会議におきまして、市議会副議長に選任されました。

その重責に身の引き締まる思いであります。

議会改革を更に進め、小松島市に住んでよかったといえるように、少子高齢化対策をはじめ、弱者に気を配れるように市民生活に反映できる議会にすべく、議長を補佐し頑張りたいと考えています。

皆様方とともに切磋琢磨し、市議会のさらなる前進と小松島市民の生活向上におお一層の努力をする所存でございますので、よろしくご指導をお願い申し上げます。

先般の臨時会議におきまして、議会選出の監査委員に選任されました。さて、本市の財政状況は人口減少等による税収減少の中、現在取り組み中の日峯大神子広域公園（脇谷地区）の再整備、防衛施設周辺洪水対策事業等、また、今日まで先送りとなっておりました学校施設の再編など大型事業が今後も続く見込みで、厳しい財政状況が予測されます。

その中で、厳しい目で監査業務を行い、最小の経費で最大の効果を念頭に置き、常に市民目線に職務に取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。



松下 大生 議員

監査委員

総務常任委員会

委員長 井村 保裕

中小企業の設備に対する 固定資産税の減免を追加

当委員会に議案2件が付託され、原案どおり可決した。請願1号は賛成多数により採択し、また、報告5件について詳細な説明を受け、受理した。

【請願に対する討論】 (反対討論)

【議案第41号】 小松島市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例は、学校教育法の改正による引用条文の条すれの改正。

【議案第42号】 小松島市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例は、生産性向上特別措置法の施行による、固定資産税の軽減割合を定める規定を追加。

【請願第1号】 所得税法第56条の廃止を求める請願は、請願提出者から

部を改正する条例の平成30年度の個人の市民税の基礎控除額の所得要件の創設と、土地の固定資産税等の負担調整措置を3年延長する改正を専決処分。

【報告第3号】 小松島市国民健康保険条例の一部を改正する条例の課税限度額の引き上げ等の改正を専決処分。

【報告第9号・10号】 ごみ収集作業中の物損事故と公用車運転中による接触事故による損害賠償の決定による専決処分。

【報告第12号】 小松島市土地開発公社の本年度の事業報告。



文教厚生常任委員会

委員長 杉本 勝

放課後児童支援員の要件を 拡大する等の改正を行う

当委員会に議案5件が付託され、審査の結果、原案どおり可決した。

【議案第43号】 小松島市放課後児童支援員の資格要件を拡大する等の改正を行うもの。

【議案第45号・48号】 本市が貸し付けた住宅新築等資金貸付金に関して、貸金の返還等を求める訴えを提起することについて議会の議決を求めるもの。

◆議案に対する質疑◆

【安平】 議案第43号において、放課後児童支援員の資格要件の門戸を広げると説明があったが、新しく条件を設けるのか。
【児童福祉課長】 これまで特別な資格がなくても、

棚の固定について緊急点検をし、報告するように、本日、校長や園長に文書で通知した。
【出】 南小学校の塀は明らかに危険だから、補正予算を組んで、危険を解消すべきである。

【教育委員会参事】 速やかな対応を実施して行く。
【池淵】 ブロック塀の点検は、校長等の目視では判断が難しいのではないかと。
【教育委員会参事】 目視をまず、一義的なものとし、建築基準法12条点検を7月から年内にかけて行う。

ブロック塀の安全対策が必要な公共施設

保育所	横須、和田島
児童館	泰地
幼稚園・小学校	小松島、南小松島、和田島
小学校	千代、坂野
中学校	小松島

産業建設常任委員会

委員長 米崎 賢治

水道手数料の徴収に関する規定につき、「消費税を加算し」の文言を削る改正を行う

当委員会には議案1件、陳情2件が付託され審査の結果、議案は原案のとおり可決、陳情2件は後記のとおり。報告1件について、詳細な説明を受け、受理した。

【議案第44号】 小松島市水道事業給水条例の一部を改正する条例については、手数料の徴収に関する規定における消費税分を各手数料に加算する旨の文言を削る改正を行うものである。

◆議案に対する質疑◆

【高木】 消費税課税誤りによる返還金総額は幾らか。
【水道課主幹】 現在55万円を想定しており、年5%の利息をつけて返すこと



徳島小松島港赤石地区

となり、今後、金額が確定してから利息を計算し、両方合わせても70万円〜80万円くらいになる。

【陳情第1号】 徳島小松島港赤石地区整備事業における陳情書については、挙手採決の結果、採択した。

【陳情第2号】 横須地区の生活環境改善について（陳情）は、委員より継続審査という意見が出され、挙手採決の結果、継続審査とした。

◆陳情に対する意見◆

要旨が2つ入っており、ラッシュ時の信号に関しては、公安委員会と調整中であり、競輪事業は、計画中であることから、継続審査にすべきである。

【報告第11号】 専決処分の報告は、市営住宅の賃貸借契約に係る連帯保証人から保証債務不存在確認訴訟を提起され、これに対し、保証債務履行請求の反訴を提起する。

◆所管事項での質問◆

【吉見】 建築基準法違反となっているブロック塀について、県や市からの補助金はあるのか。
【住宅課長】 木造住宅の耐震化事業と一緒にする場合、ある一定の条件において対象となるものもあるが、ブロック塀単体での補助金はない。

予算決算常任委員会

委員長 池淵 彰

【議案第40号】 平成30年度一般会計補正予算

◆議案に対する質疑◆

【安平】 補正予算を組むに当たって、交付税を算入するというやり方は、例年やられてない。なぜか。
【総務部長】 緊急時の補正に對して、一定限度は留保財源として見込める部分は残している。今回は最低限の範囲で、生活保護システム改修と公民館改修の一般財源分として、交付税を充てた。

【安平】 北小松島公民館舗装工事の補正予算で、発注当初から工事が組み込まれていないが、なぜか。
【生涯学習課長】 処分費等再度、設計仕様を見直したところ、抜けていたので、今回補正となった。今後このようなことがないように考えたい。

【議案第49号】 平成30年度小松島市競輪事業特別会計補正予算

◆議案に対する質疑◆

【出】 施設整備の今後のスケジュールは。
【競輪局長】 概算工事費、工程表を早ければ年内、遅くとも年度内には策定したい。

【報告案件】

○ 専決処分と繰越明許費について
【出】 競輪事業の収益金3億円を競輪施設整備基金に繰り入れた専決処分。現在基金残高は。
【競輪局長】 平成29年度末で、10億5,100万円余りである。

○ 小松島競輪施設整備概要を大きく4点変更した箇所の報告。
【安平】 「自転車競技法に基づく包括委託」とある。

詳しく説明を求める。
【競輪局長】 施行者の事務に関する部分以外を民間の事業者へ委託する。具体的には、本場運営における投票権の発売業務、管理業務などがある。
【安平】 民間施設を借り、運営している施行者もある。建設も含め検討してはどうか。
【統括監】 その包括も十分に検討する。

【出】 ブロック塀の倒壊の安全点検、調査、対策は。
【総務部長】 関係各者に緊急調査の依頼をした。6月22日を期限に報告を受け、結果を受け、早期に対策を講じたい。

【安平】 根本的にブロック塀はやめて、全ての施設をフェンスに変える方針を決定してはどうか。
【総務部長】 基本的な考え方は、軽量なメッシュフェンス等が安全である。今後、検討していきたい。

市政 Q&A

一般質問・発言要旨

質問者名	件名	
片田 真弓	学校給食について	P7
	子育て支援について	P7
吉見 勝之	国民健康保険について	P7
	全職員の幸福の追求について	P7
	条例の誤りと普通交付税（生活保護費）の錯誤について	P7
	市民の健康について	P7
四宮 祐司	市民の防災意識向上に向けた取り組みについて	P8
	本市の健康増進への取り組みについて	P9
佐野 善作	安全・安心のまちづくりについて	P8
	行政運営システムについて	P8
	職員の意識改革について	P9
出口憲二郎	競輪事業特別会計補正予算について	P9
	金長神社について	P9
高木 幸次	粗大ゴミ収集について	P10
	広域ごみ処理施設整備について	P11
杉本 勝	濱田市長の政治姿勢について	P10
	日峯大神子広域公園について	P10
池淵 彰	一般廃棄物中間処理施設の広域整備について	P10
	観光資源について	
	徳島県東部都市計画、公共下水道事業変更について	P11
前川 英貴	水道事業、手数料過大徴収について	P11
	事務事業におけるリスクマネジメントについて	P11
	専決処分について	
米崎 賢治	部落差別解消推進法施行に伴う取り組みについて	P12
	事前登録型本人通知制度について	P12
米崎 賢治	小松島市障がい福祉計画について	P13
	食品ロスについて	P12
	競輪事業について	P12
米崎 賢治	スポーツ政策について	P12

給食費全額補助への考えは

日本共産党 片田 真弓 議員

答 現状においては困難である



片田 給食費の保護者負担額は、年額でいくらか。
教育委員会 平成28年度実績で、小学校5万6,705円、中学校6万2,370円である。

片田 徳島県内で保護者負担軽減しているのは9市町村ある。小中学校ともに半額補助、第3子以降無料などや産地食材の使用補助など給食費の保護者負担を部分的に補助する市町村は県内でも広がっている。本市での給食費を全額補助する考えは。

教育委員会 本市の学校給食費を無償化するには一年間で小中学校、合計1億7,800万円の市費がいるため、現状においては困難である。

出産祝い金の支給予定は

片田 徳島県内で出産祝い金を支給している自治体は、第一子に1万円支給が5市町村、第二子に3万円〜5万円が7市

子育て応援団 会員募集中

「育児の応援を依頼したい」「少し育児の応援ができる」という人が会員登録し、育児の相互援助を有料で行うものです。

育児の応援を依頼したい人
● 依頼会員は下記の各市町村内に住んでいるか事業所に勤務している人。
● 0歳から小学校6年生までの子ども子育ての応援を受けたい。

育児の応援ができる人
● 提供会員は下記の各市町村内に住んでいるか事業所に勤務している人。
● 少しでも子育ての応援をしたい。(資格・経験・性別は問いません。)
★ 応援活動については、ファミリー・サポート・センターが報酬に加入しています。(報酬)
● 提供員は、3時間以上の報酬を受けていただきます。

報酬(利用料金)
援助を受けた依頼会員が、提供会員に直接支払います。
月一金 7,000~21,000 1時間700円
上記以外は 1時間800円

町村あり、第三子以降に10万円〜50万円支給の市町村もある。本市での予定は。

保健福祉部長 短期的な経済支援も支援策であるが、産後ケア事業を初め、妊娠中の相談支援、特定不妊治療への支援など、子育て世帯に切れ目ない支援で安心して子育てできる環境を整えていく。

ファミリー・サポートセンターについて

片田 地域子育て支援センターとファミリー・サポートセンターの違いは。

て支援センターは常設の専用スペースを設け、幼稚園、保育所に通っていない子どもの保護者に子育てに関する相談や援助、情報発信などを実施。ファミリー・サポートセンターは、ゼロ歳から小学校6年生までの子育ての応援を受けた方(依頼会員)と子育ての応援ができる方(提供会員)が登録して、幼稚園、保育所などの送迎や帰宅後の預かり、保護者の冠婚葬祭等の外出など援助が必要な場合にセンターが仲介し、多様な保育ニーズに対する援助活動を有償で実施している。

国民健康保険「給付の制限」の周知は

やまももクラブ 吉見 勝之 議員

答 「国保のしおり」を配布、他の方法も検討する



吉見 給付制限の周知方法の改善策は。

保険年金課長 「国保のしおり」を加入世帯に配布し案内しているが、他の周知方法も検討する。

有給休暇で生き方改革を

吉見 生産性や消費の向上、家庭の親睦等、生き方改革の為に、市役所が率先して有給休暇取得100%を目指しては。

人事課長 平均取得日数を14日に目標としているが平成29年度は9.4日である。目標達成に推進する。

特別職や管理職の責任の取り方は

吉見 介護保険条例や水道事業給水条例の消費税の賦課間違いは、なぜ同時期に公表しなかったのか。

副市長 内容に差異があったため。

吉見 再発防止策は。

統括監 関係法令等の確認や関係省庁への確認等、複数のチェック体制による事務の徹底を図る。

給水条例以外にも

吉見 給水条例以外にも生活保護の錯誤、介護条例など事務のミスが続いているが、特別職の責任の取り方は。

100歳体操の実施は

吉見 いきいき100歳体操の実施は。

介護福祉課長 体操の効果は身体能力の向上だけでなく、住民の集まりや外出機会が増える。機器や実施場所の確保等、他市を参考に検討する。

申請前の介護サービス利用は可能か

吉見 介護保険の認定結果が出るまでに時間がかかると思うが、介護申請前に介護サービスの利用は可能か。

介護福祉課長 申請前の利用は給付対象外。申請後であれば、暫定ケアプランを作成し利用できる場合もある。

給付の制限

次のような場合は国保の給付が受けられなかったり制限されたりします。

給付が受けられないもの	制限されるもの
<ul style="list-style-type: none"> 正常な妊娠や出産 歯列矯正や美容整形 他の保険が適用される場合(労災保険など) 	<ul style="list-style-type: none"> 酒酔いやけんか原因のけがや病気 犯罪や故意によるけがや病気



吉見 はり、きゅう、あんま、マッサージ施術費用の助成はなぜ廃止か。

保険年金課長 保険事業が医療費適正化、重症化予防に重点化されているので、財源の確保が困難となる予想のため。

自主防災会未結成地区への 取り組みは

公明党 四宮 祐司議員

答 必要性等を周知し、結成促進に努めていく

四宮 津波等の災害発生時には、地域防災のコミュニティ力を発揮する上で、自主防災会などの組織が重要な役割を果たす。市内中心部の地域など、未結成の地区もある中、従来どおりの取り組みで結成率を上げることが難しい。地域に全てを任せるのではなく、行政としての取り組みは。

新設のあいさい広場も指定緊急避難場所にしては

四宮 平成30年4月末、リニューアルオープンしたみはらしの丘あいさい広場は、以前より約5メートル高く、敷地面積も約2倍広い。



あいさい広場

危機管理課長 新施設についても指定緊急避難場所として指定できるように、現在JA東とくしまと協議を進めている。

JR牟岐線一番町第一踏切の通行止め期間は

四宮 災害発生時には、金磯・横須町方面から市

葬斎場、国道55号方面への避難経路となり、多くの方が利用すると想定されるが、踏切拡幅工事に伴う踏切道の通行止めの期間は。

都市整備課長 平成30年9月ごろから再来年2月末までの約1年半を予定。
四宮 通行止めの期間中

に、災害発生も想定されるが、市の対応は。
都市整備課長 できる限り早期に通行止め解除ができるよう、JR四国とも協議を重ねていく。

糖尿病重症化対策は

四宮 徳島県は2017年の糖尿病による死亡率

が全国で最も高くなったが、糖尿病の重症化に対する本市の取り組みは。
保健センター所長 市国保特定健診結果から対象者を抽出し、保健指導を行っている。また、糖尿病連携手帳を活用し、対象者の血糖コントロールと合併症予防に取り組む。

金長神社をどうするのか

前進クラブ 出口 憲二郎議員

答 建物等施設の所有者の特定を進める

出口 昭和31年12月28日建立された「金長神社」の取り扱いについて、市内外より存続も含めた署名活動が行われている。また、インターネット上、SNSでも大きな話題となっている。こうした情報が錯綜する中、都市公園整備の事業者である小

松島市はどのような方針のもと、金長神社をどう取り扱おうとしているのか。

まちづくり推進課長 都市公園の再整備を契機に、金長神社のあり方について本公園施設整備に係る有識者会議において各専門分野の立場から多



くの意見等をいただき、また市内外から、様々な議論が行われているなど、改めて「金長狸」の伝説の重要性を再認識した。しかしながら、建築後62年を迎える木造建築物等は劣化が激しく、公園利用者等へ危険を及ぼす恐れも懸念されること

の意見等をいただき、また市内外から、様々な議論が行われているなど、改めて「金長狸」の伝説の重要性を再認識した。しかしながら、建築後62年を迎える木造建築物等は劣化が激しく、公園利用者等へ危険を及ぼす恐れも懸念されること

安心・安全のまちづくりのため 防犯灯・街路灯の増設を

新風はなみずき 佐野 善作議員

答 設置要綱の改定・再編の必要性を検討

佐野 街路灯のLED化への取り組みはどうか。
都市整備課長 LED化は300ワット相当の道路照明の水銀灯73基のうち42基の切り替えが完了している。平成27年度以降の市が設置した街路灯は全てLED灯で設置



LED街路灯

産業建設部長 要綱の改定・再編を急ぎ、必要性について庁内で検討する。
佐野 市内全小中学校の通学路の安全点検と整備の対策はどうか。
学校課長 平成28年に通学路交通安全推進協議会を立ち上げ、学校・保護者・地域の御意見をもとに、学校・警察・県・国の関係機関と連携を取りながら通学路の合同点検を実施し、危険箇所の改善を行っている。

行政運営システムについて

佐野 条例制定時のミスは市の信用にかかわることである。税や料金等の条例を精査すべきである。
総務部長 効果の上がるチェック方法を検討して事務を進める。
佐野 市全体が一丸となって事業を遂行するプロジェクトチームを多く



佐野 生徒の安全を確保するため、通学路防犯灯設置要綱をつくってはどうか。
学校課長 街路灯設置要綱の見直しを検討する際に協議をする。

作るべきだが、どうか。
人事課長 プロジェクトチームという大がかりなものではなく、兼務辞令や事務委託の方法もある。

人事課長 一般職全ての職員に対して人事評価を行っている。自己評価・一次評価、二次評価・調整者と4段階の評価で客観的な評価を担保している。被評価者には結果を開示して来年度以降の目標設定に踏まえてアドバイス等を行っている。

佐野 職員による提案制度を取り入れては。
人事課長 制度化へ向け研究検討をしていく。

よりその対応を早期に検討しなければならぬ現状である。現時点では、所有者の特定ができていないことから、本年7月上旬を目途に所有権等調査の取り組みを全力で行っている。

競輪事業の収益金3億円の施設整備基金への組み入れは適当か

出口 競輪事業の本来の目的である一般会計への繰り入れを行わず、収益金3億円を市長専決で競輪施設整備基金に繰り入れたのはなぜか。
市長 メインスタ



金長神社本殿 が進んでいることから事業を継続する上では施設の整備は必要不可欠であり、多額の費用が必要となる。基金の範囲内で身の丈に

合った施設改修で対応していきたい。それに備えて整備基金に積み立てるものである。
出口 横須協議会より横須地区の生活環境改善についての陳情が出されている。その中に、周辺住民への夜間照明の影響や打鐘音が、住民生活に及ぼす影響を考え、ミッドナイト競輪の実施には反対であるとの記述があるが、当局の見解はどうか。
競輪局長 今後も競輪事業を続けていくうえで地元合意は必要不可欠なものである。説明会などを通じて地元理解を進めていく。

広域ごみ処理施設問題における各公民館についての説明会開催は

大互クラブ 高木 幸次 議員

答 現段階では、考えていない



高木 ミリカホールで開催した広域ごみ処理施設の市民説明会は、周知不足ではないか。

市民生活課長 徳島市との協議を踏まえ、可能な限り本市での説明会開催に向けた一定の周知期間と頻度等も確保できるように調整をし、

では、考えていないが、市全体を包含できるような開催のやり方を検討していく。

高木 周知が足りないから参加者が少なかったと考えられる。周知方法についてもっと考えるべきではないのか。

市民生活課長 最有力候補地の隣接地として関わり深い田浦町、前原町、新居見町、江田町の各協議会単位での説明会をまずは先行し開催した。ミリカホールでの説明会は、徳島新聞火曜日欄、市のホームページで周知している。

高木 公民館単位での説明会を開催する考えは。現時点において



広域ごみ処理施設説明会

日峯大神子広域公園施設整備事業の現状について

新生クラブ 杉本 勝 議員

答 国土交通省の普及事業を活用し、都市公園整備をする



杉本 日峯大神子広域公園の進捗状況は。

杉本 用地取得の進捗は。着手する予定であり、埋蔵文化財の試掘調査も進めている。

まちづくり推進課長 平成30年2月23日に設置した日峯大神子広域公園（脇谷地区）施設整備専門検討会議より、都市公園の有するレクリエーション機能及び防災機能が発揮され、安全かつ快適な環境及び景観が創造されるよう、園路計画や植栽計画などについて専門的な見地から、意見等の提言書を7月中旬を目途にいただく。また、西側に位置する児童公園及びテニスコート等の一部撤去工事は、6月中旬か

杉本 硬式野球場の施設計画は。

ダッグアウトを設け、センター後方にはバックスクリーン、スコアボード等を計画している。観客席には、椅子スペースを設置し、すべての人が、安全に利用できるユニバーサルデザインとしている。

まちづくり推進課長 公認野球規則に基づく硬式野球規格を満たした野球場施設を整備する。付帯施設は、ホームベース後方に本部席、控え室、放送室等を備え、左右に



日峯大神子広域公園工事現場

水道事業手数料過大徴収について、今後の対策は

みらいの会 池淵 彰 議員

答 本年10月を目途に対象者全員に文書にて還付金額・方法を知らせる



高木 何回も申し述べますが市民が主役、三者合意形成があつてこそ物事は前に進むことをくれぐれもお忘れなく。

市長 職員は日々上司の指導監督の下、法令を遵守し事務の執行に努めている。再発防止に向け、前例踏襲に陥ることなく、職員一人一人がそれ

ぞれ責務を深く認識し、職務を執り行っていく。再発防止には、市長自身の意識改革が必要ではないのか。

杉本 一般廃棄物処理施設広域整備の説明会は。処理施設の説明会では、去る5月下旬に先行して開催した候補地、隣接地4町並びにミリカホールでの開催を含め、概ね

100名近くの参加があった。市全体に向けての開催手法を適宜勘案していく中で、市民説明会を開催していく。

から、9年後の施設稼働を目途としている。本年度内に施設整備基本計画案をまとめ、来年度以降、実施計画の策定のほか、環境影響評価、都市計画決定を経て、造成工事や基本施設設計を踏まえた建設工事等の工程が予定されている。

池淵 申請者である水道業者に通知が行くのか、戸別に個人の方々に今後どのような方法で、どれくらいの時期までに対処をするのか。

市民生活課長 徳島市との協議を踏まえ、可能な限り本市での説明会開催に向けた一定の周知期間と頻度等も確保できるように調整をし、

者、利息を含めた還付金額を確定させるが、対象期間が21年間であり、還付件数も多いため、確定には時間を要する。今後の還付に向けての対応は、できるだけ早い時期とされており、この10月を目途に対象者全員に文

書にて、還付金額及び還付方法を通知できるように作業を進めている。還付方法は、適正かつ効率的に還付できるよう水道料金との相殺を原則とした上で、水道料金引落口座への振り込みや希望口座への振り込みにも対応

きよう考えている。

池淵 9月議会に補正を求める方針なのか。

市長 準備ができ次第、遅くとも9月の定例議会までには報告する。

池淵 今後対応していただくうえで、臨時的な、急遽行う事案柄、人員補充が必要と考える。過重な労働をかける、速やかな対応をするために、人員の補充をすべきではないか。

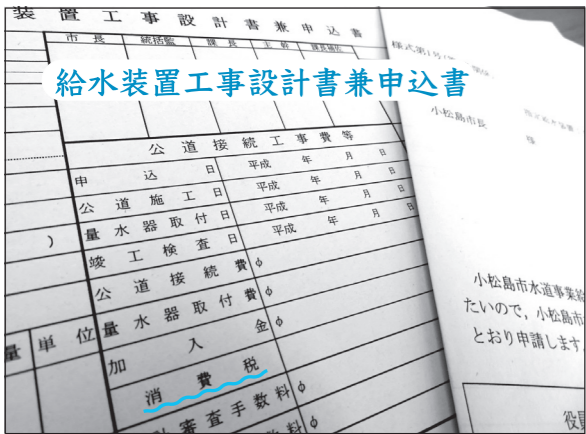
今後どうしていくかは、総務部・人事課と相談し、早急に進めていく。

池淵 前向きな姿勢で捉えて、できるだけ早い段階で対処できることを望む。

事務事業におけるリスクマネジメント

池淵 近年、文書の紛失や介護保険料・生活保護の事務ミス、そして今回の問題。「注意喚起をし、徹底的にやり直す」という答えが全ての答弁。徹底した再発防止を図るため、「見える化」をすべきではないか。

総務部長 決裁をどうチェックを行うのか、決裁の内容に応じて精査し、研修等で利用する。あるいは実際、当座の間、チェックすることも前向きに検討する。



部落差別解消推進法施行に伴う取り組みは

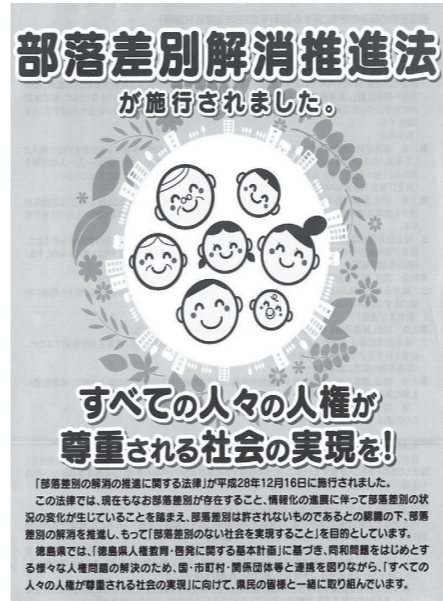
新生クラブ 前川 英貴 議員

答 法律の趣旨を踏まえ更なる充実に努める



前川 部落差別解消推進法の施行から、1年半が経過している。市民への周知や職員への研修の取り組みは。

人権推進課長 人権教育振興協議会や職員人権問題研究会で研修を実施し、パンフレットの配布



や広報誌、ホームページで周知を図っている。

前川 この法律では、国に対し部落差別の解消に関する施策の実施や、相談体制の充実を求めている。地方公共団体に対しても、教育や啓発を行うように努めることとされ

ているが、本市での今後の取り組みは。

人権推進課長 人権教育振興協議会の本年度の基本目標にこの法律の趣旨を踏まえた取り組みを推進していくことを明確化し、講演会等で啓発活動の充実に努める。

事前登録型本人通知制度の導入を

前川 他人の戸籍謄本等を不正に入手する事件が今なお全国各地で起きている。事前登録型本人通知制度は、各市町村に住民登録や本籍のある人が、事前に登録することにより、不正請求発見に

スポーツ政策を市長部局に移す考えは

新風はなみずき 米崎 賢治 議員

答 教育委員会と協議を図る



米崎 スポーツ政策についてどのような方針で取り組んできたのか。

生涯学習課長 一人一人が自分の能力に応じて、生涯を通じて携わることができるよう、教育の環境として推進してきた。

米崎 スポーツの産業化やプロスポーツ選手の育成への支援や施策はどのように行っているのか。

教育次長 健康・福祉の増進や観光イベントなど、市長部局と連携できるものについては連携し、その他、地域スポーツの振興やスポーツ団体との協力関係、指導者の養成や技術力の向上につ

ながる施策については、スポーツ基本法の趣旨に沿って実施する。

米崎 スポーツ政策を市長部局に移し、教育委員会できない施策の実現に取り組む考えは。

総務部長 今後の全国的な動向も研究する中で、教育委員会と協議を図る。

であるか、改修費用の軽減や工期短縮などの可能性についても調査する。

米崎 イベント開催について具体的な方向性は。

競輪局長 2020年に開催される東京オリンピックを意識したプロスポーツ選手を講師に迎えたスポーツ教室等のイベントを実施する。

競輪の施設整備及びイベント開催は

米崎 競輪施設整備等について今後の流れは。

競輪局長 個々の課題に対する調査業務委託料を上げし、今後、既存施設の有効な施設利用が可能

食品ロス削減に向け今後の取り組みは

米崎 食品ロス削減に向けた今後の取り組みは。

市民生活課長 徳島県が環境問題に作成した食品ロスに関するパネルを、11月下旬から2週間程度

つながるため、個人情報

の不正利用の防止や事実関係の早期究明が期待される制度である。県内でも、半数以上の自治体で制度の導入がされているが、今後導入の考えは。

市民環境部長 他の自治体の取り組みや手法を研究した上で、本市の実情に応じた進め方を検討し

ていきたい。

第5期障がい福祉計画は

前川 第5期障がい福祉計画の取り組みは。

介護福祉課長 就労支援に関する相談体制の充実を図るとともに、医療的なケアが日常的に必要な医療的ケア児への支援に

取り組む。

前川 第5期障がい福祉計画の推進体制は。

保健福祉部長 障がい福祉に係る施策や事業の実施状況について、点検・評価を行うとともに、幅広く市民の意見の把握に努め、施策、事業のなお一層の推進を図る。

本庁舎1階ロビーに展示

する。また、市広報やホームページ等による啓発対象に応じて工夫を凝らしながら取り組む。

米崎 学校給食における食品ロスについて教育委員会、または学校現場での対応は。

教育委員会参事 情報を共有する中で、残食率を

減らして、献立の工夫や食育事業などの取り組みを行っている。

米崎 3Rの推進を図るための食育・環境教育の観点から、学校における学習教材としてのモデル事業もあるが、取り組む

考えは。

教育委員会参事 本市の現状と照らし合わせる中で、調査研究に努める。



議会改革特別委員会報告

松下 大生 委員長

年間テーマの研究

『議案の形成過程に議会として参加する手法の研究』及び議会運営委員会からの諮問に対する答申を行う

議案の形成過程に議会として参加する手法を年間テーマとして調査研究を行った。議会に提案された議案に対し審議するだけにとどまらず、行政に対し更なる政策提言を行うため、他自治体の取り組みなどを研究した。議会運営委員会から「委員長手当てについて」「政務活動費の見直しについて」審議の依頼を受け、両議題とも様々な議論がなされ、それら意見を集約し、議会運営委員会へ報告書を提出した。



東京都日の出町議会視察来市

視察来市 (H29年5月~H30年4月)

- 10/3 石川県輪島市議会
- 10/18 埼玉県所沢市議会
- 10/11 佐賀県武雄市議会
- 11/7 東京都日の出町議会

前号(117号)クイズの答え

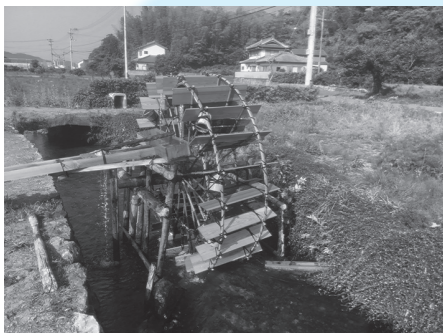
(前号の問題)

市内の石積水路に昔ながらの伝統的な手作りの水くみ水車が回っています。この水車は何町にあるでしょうか。次の3つからお選びください。

- ①立江町
- ②田浦町
- ③坂野町

★前号クイズ
応募総数 47 通

クイズへのご応募、コメントお待ちしております。



平成29年度政務活動費収支一覧表

会派名	市議会		市議会		市議会		市議会		計	市議会		計
	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名		議員名	議員名	
交付額	728,000	728,000	728,000	728,000	728,000	728,000	728,000	728,000	728,000	728,000	728,000	
支子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出内訳	200,000	400,000	200,000	400,000	200,000	400,000	200,000	400,000	200,000	400,000	200,000	
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
水道・雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出総額	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	
残額(繰越)	328,000	328,000	328,000	328,000	328,000	328,000	328,000	328,000	328,000	328,000	328,000	

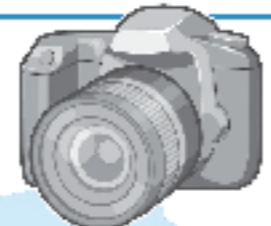
※市議会議員の政務活動費は平成29年6月2日付議決し、同日付で領収した金額及び市議会議員の政務活動費は、議決額を超過し(※1)、その超過部分により交付された(※2)。年度交付額及び交付額に超過した額は、年度(※3)において、残りの交付額及び交付額を用いている。

会派名	議員名	議員名	議員名	議員名
交付額	478,000	239,000	478,000	4,000,000
支子	1	0	1	27
支出内訳	0	0	0	588,000
燃料費	0	0	0	230,420
光熱費	0	0	0	119,001
水道・雑費	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
支出総額	478,000	239,000	478,000	481,570
残額(繰越)	239,000	0	239,000	2,526,614

政務活動費について

- 政務活動費とは
小松高市議会議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるもの。
- 交付額及び交付の方法
当該年度の4月1日における当該会派の所属議員数に年額240,000円を乗じて得た額を当該会派に交付。
- 収支報告書の提出義務
全ての支出に対して、支出を証明する証書書類である領収書等の写しを添付することとし、その透明性の確保に努める。
- 政務活動費に残額がある場合
残額がある場合には、その政務活動費の残金は全額、市に対して返還している。

「議会だより」 表紙写真募集



テーマ 議会だより表紙にあざわしい、とっておきの一コマ
応募資格 市内在住・在勤・在学の方
応募方法 応募用紙に必要事項をご記入の上、写真(A4サイズ)を添え、市役所2階、議会事務局までご提出ください。
応募規定 応募作品については本人が撮影した未発表のものに限ります。被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了事を得た上でご応募ください。
応募締切 10月10日 必着(11月6日発行号)
応募先 〒773-8501 小松高市議会事務局 1番1号 小松高市議会事務局
問合せ先 小松高市議会事務局 Tel 32-1359

議員の賛否表 (平成30年6月定例会議)

議案等	議員名 (議席番号順)													結果					
	委員長報告	松下大生	四宮祐司	高木幸次	米崎賢治	池淵彰	片田真弓	杉本勝	前川英貴	廣田和	井村保裕	北野恒男	吉見勝之		出口憲一郎	安平剛之	佐野善作	宮崎欽司	
第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	採択
陳情第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議提第3号	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
議提第4号	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
議提第5号	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

委員長報告に対して ○は賛成 ●は反対 ※議長(武田 清)は、採決には加わりません。

意見書2件を関係大臣に送付しました



◎所得税法第56条の廃止を求める意見書	【要旨】 所得税法第56条は「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費にしない」と定めており、どんなに働いても家族従業員には、自家労賃(働き分)が社会的に認められていない。家族従業員が「法の下に平等」であるために、所得税法第56条の廃止を求める。
◎徳島小松島港赤石地区整備事業における意見書	【要旨】 徳島小松島港赤石地区は、物流機能とともに観光機能の拡充も図られ、物流貨物船が定期的に着岸し、海外大型クルーズ客船の寄港も増加している。しかしながら、赤石地区岸壁(-13)は、延伸整備が未整備のため岸壁の長さが不足し、物流・観光を促進するうえでの課題となっている。 よって、徳島小松島港湾計画図における徳島小松島港赤石地区の岸壁(-13)の未整備箇所を早期に整備するよう強く求める。

平成30年9月定例会議日程

◎開会時刻はすべて午前10時です。

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
	開会		質疑・一般質問 市議会コンサート	質疑・一般質問	質疑・一般質問	
9	10	11	12	13	14	15
	総務 常任委員会	文教厚生 常任委員会	産業建設 常任委員会	予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会	
16	17	18	19	20	21	22
		予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会			
23	24	25	26	27	28	29
		予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会		議決・散会	

写真で見る市内の今昔風景②



坂野小学校の全児童と先生ら（昭和10年撮影）昭和3年度入学までの方（現在90歳以上）が写っている。当時は700人近くの子供が通っていた。後方には大きな根上り松がたくさんあった。

小松島にコウノトリ飛来



6月1日～ 立江町、櫛淵町周辺の水田にて

編集後記

七月には、西日本を中心に記録的豪雨による大災害が起きてしまいました。被害に遭われました方々に心よりお見舞い申し上げます。

小松島市議会は、安心安全のまちづくりを目指して行政と共に日夜、努力を重ねております。

開かれた市議会として、議会の活動をできるだけ解かりやすく市民の皆様にお伝えするため、編集委員一同、一丸となって頑張っていきます。

広報委員長 佐野善作

広報委員

- 委員長 佐野善作
- 副委員長 片田真弓
- 委員 出口憲二郎
- 委員 池淵彰
- 委員 吉見勝之
- 委員 廣田和三
- 委員 米崎賢治
- 委員 四宮祐司

発行／小松島市議会 議長 武田 清

編集／議会広報特別委員会 委員長 佐野善作